

六漢口(嵯峨、浦風)

(1) 安徽ニ進出セル革命軍ハ柏文蔚軍潛山太湖、宿松ニ朱培德軍ノ一部安慶ニ賀耀祖軍徽州青陽ニ程潛軍指揮官楊杰ハ大通在リテ江蘇軍ノ大部隊ハ尚黃梅集中中李宗仁漢口アリ一週間後全地ニ白ク出發ノ旨王善軍ハ南昌方面ヨリ進發中葉開鑫ハ暫編第七軍長ニ任命(英山方面在リ(七日受))

(2) 南陽丸件ニ関シ昨日清汽船支店長ハ交渉員劉明釗ニ交渉又本總領事ハ陳友仁ニ抗議セリ尚小官ハ本應生ヲ訪問シ李ハ士官学校今期生ニシテ親交ノ間柄ナル大通方面進出部隊指揮官第六軍師長楊杰宛將來日本船ニ對シ絶對ニ射殺平ヲ支ヘカラサル旨打電セシメリ

(七日受)

(3) 共産党ノ一員ヲ總司令部政治部指導員ノ談

ハ第三インターナショナルヨリ當地共産派ニ對シ今回全体會議ハ共産

派カ右傾派ニ對シ最後ノ勝敗ヲ決スヘキ時ナリ極力奮闘セヨトノ来

電アリ

一 蔣ハボロヂニシテ解雇セ下計リシモ周圍ノ勸告ニ依リ中止セリ(以上七)

二 長安午後三時當地着前回譚等ノ来漢導當時ニ比シ歓迎振
甚ク振ハス單ニ武昌棧橋附近ニ農民工人等ノ群衆ヲ見タルニナリ

丙 342, 347 入港 229, 230 出港 下江

(以上七自受)

七 長沙(比良)

司令部員談ニ依リハ唐保境ノ目的ヲ以テ鄂東ニシテ二十六軍ノ残部

ヲ湖南ニ遷シヤトセシ方蔣介石ノ為ニ阻止サレ更ニ今回當地ニ在リシ前

敵總指揮ト漢口アリシ八軍司令部ヲ置換ヘシニテラレリ

尚常德ニ西路指揮部ヲ置キテ何健ヲ据ヘ當地ニ李品仙ヲ留ムルコ

トトモリ(八日受)

七七

9/3

八重慶(保津)

日本自入港、支船自延、萬縣上流十里附近に於て兵士方匪カ不明
ノ三十位ノ一隊ヲ銃撃ヲ受ケ乗客一名死ニ名重傷

四午前十時佛艦「ゾーグート」デ「ラグ」下流ヨリ當地着(以上七自受)

シ

三月八日 火曜 雨模様 氣温八五 上海

接受情報

| | |
|---------|------------|
| 午前一時十五分 | 桃ヨリ七首鎮江情報 |
| 全二時八分 | 柳ヨリ七首蕪湖情報 |
| 午後六時五分 | 嵯峨ヨリ八首漢口情報 |
| 全七時七分 | 比良ヨリ七首長沙情報 |
| 全十時四十分 | 嵯峨ヨリ八首漢口情報 |
| 全十時九分 | 保津ヨリ八首重慶情報 |

◎ 午前十一時五分 次官次長麾下宛 司令官發電

畢無澄本日旗艦來訪ス其談要旨

一 渤海艦隊ハ長江艦隊ト衝突ノ恐れヲ以テ來航セシム

二 孫傳芳楊樹莊各艦隊ヲ有ス兩艦隊仲悪シ楊ハ多少南軍ト

關係アルヘシ

三、昨午大沽ニテ各國海軍長官ト會見、際戰爭ノ目的ハ赤化討伐ニシテ
 又トテ説明セシ時各國ハ之ヲ是認セシモ英國ノミ反對セリ現在長江及
 南支ニ於テ赤化ニ苦シミツツアルモ亦英國ノミナリ

四、支那ハ弱國ナリ租界ヲ有スモハ強國ナリ租界武力回收ハ望ムヘカラス
 唯回收時機来ルヲ待ツノミ

五、目下上海ノ治安ハ李寶章擔任シ余ハ專ラ戰鬪方面ニ當リ將來
 余自ラ上海ノ治安維持ニ任スヤウニナルモ知ス其際ハ最モ穩健
 ナル方針ヲ執ルニシ

六、松江方面ニ未タ南軍現ハス或ハ蘇州常州方面ニ進出スルモナラン
 七、浦口ニ於テ「ホロゲン」夫人抑留ハ事實ナリ露國公使ハ「ホロゲン」夫
 人ニ非サルヲ以テ釈放サレタシト申込ミ来レリ

八、軍中ニ約百七十名ノ鉄甲車隊アリ

◎ 午後十時十分次官次長宛 司令官發電

一 今八日横須賀派遣陸戰隊ニ九名ヲ敬言戒隊トシテ揚陸
ニ敬言戒隊配備

西部 吳隊(水月俱樂部及水月小學校)

中部 佐保隊(電信局及郵船社宅)

東部 横須賀隊(大康紡績社宅ポイント俱樂部及
上海紡第三工場)

三 本件敬言戒隊トシテ發表シテアラズ單ニ陸上宿泊ノ名目トナリ御合
ニ迄

◎ 敬言戒隊吳特甲隊ハ午後一時華紡俱樂部ニ移轉ス

佐特^(電信局)午後秘密裡ニ武器整理格納所ヲ階ニ移ス(當隊用武器
彈藥全部)

横特午後二時半揚陸ヲ開始シ今八時半揚陸ヲ終リ陸戰隊本部
並偶數小隊「ポイント」俱樂部奇數小隊並工作隊「上紡第二工場

光

ニ全古塔白人

◎ 精機密第一遷外艦隊第二號 (三月九日)

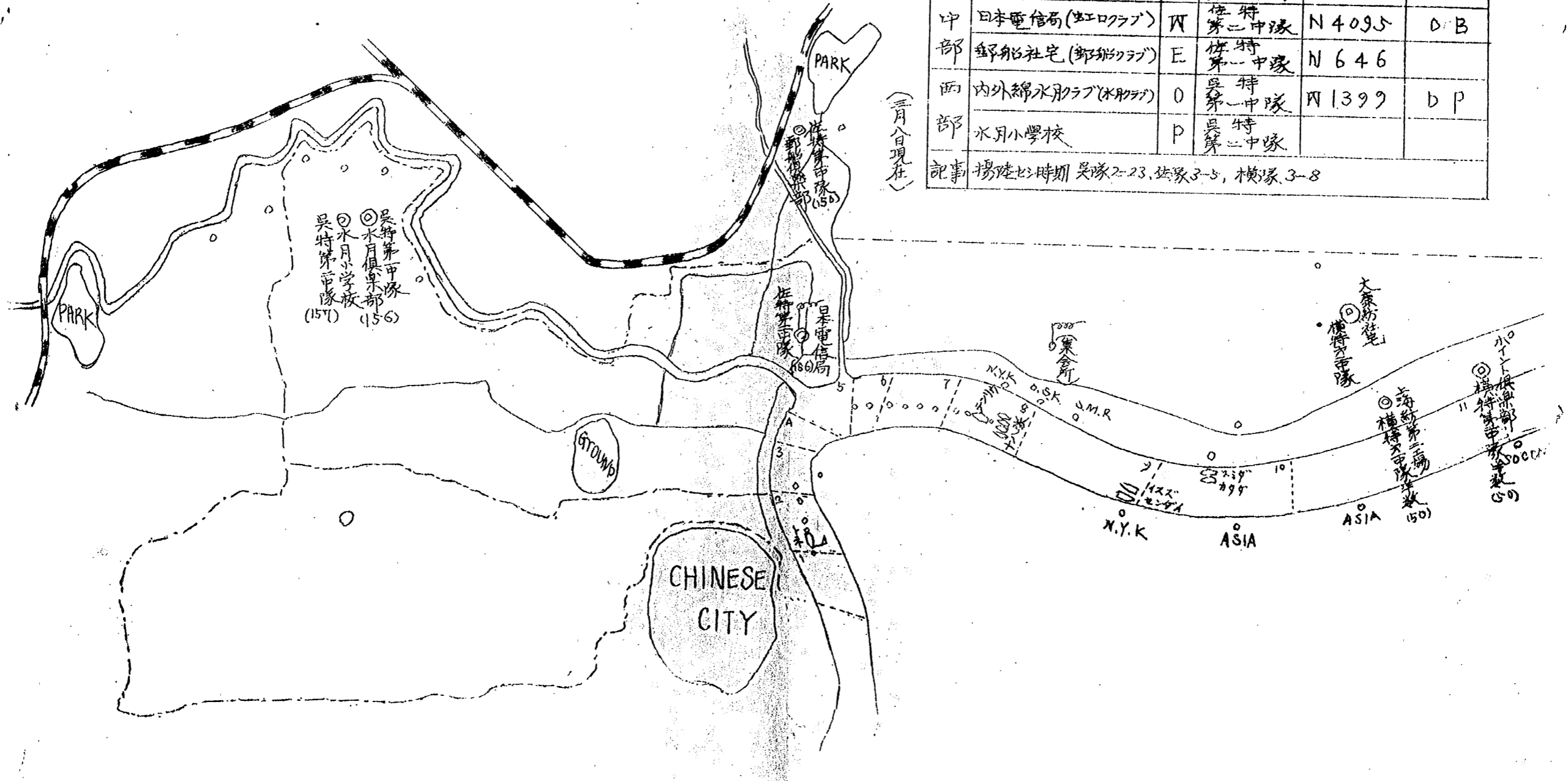
警戒隊配備表 (三月八日現在)

陸戦隊(第四編制)配備表

〜 別紙

警戒隊配備表

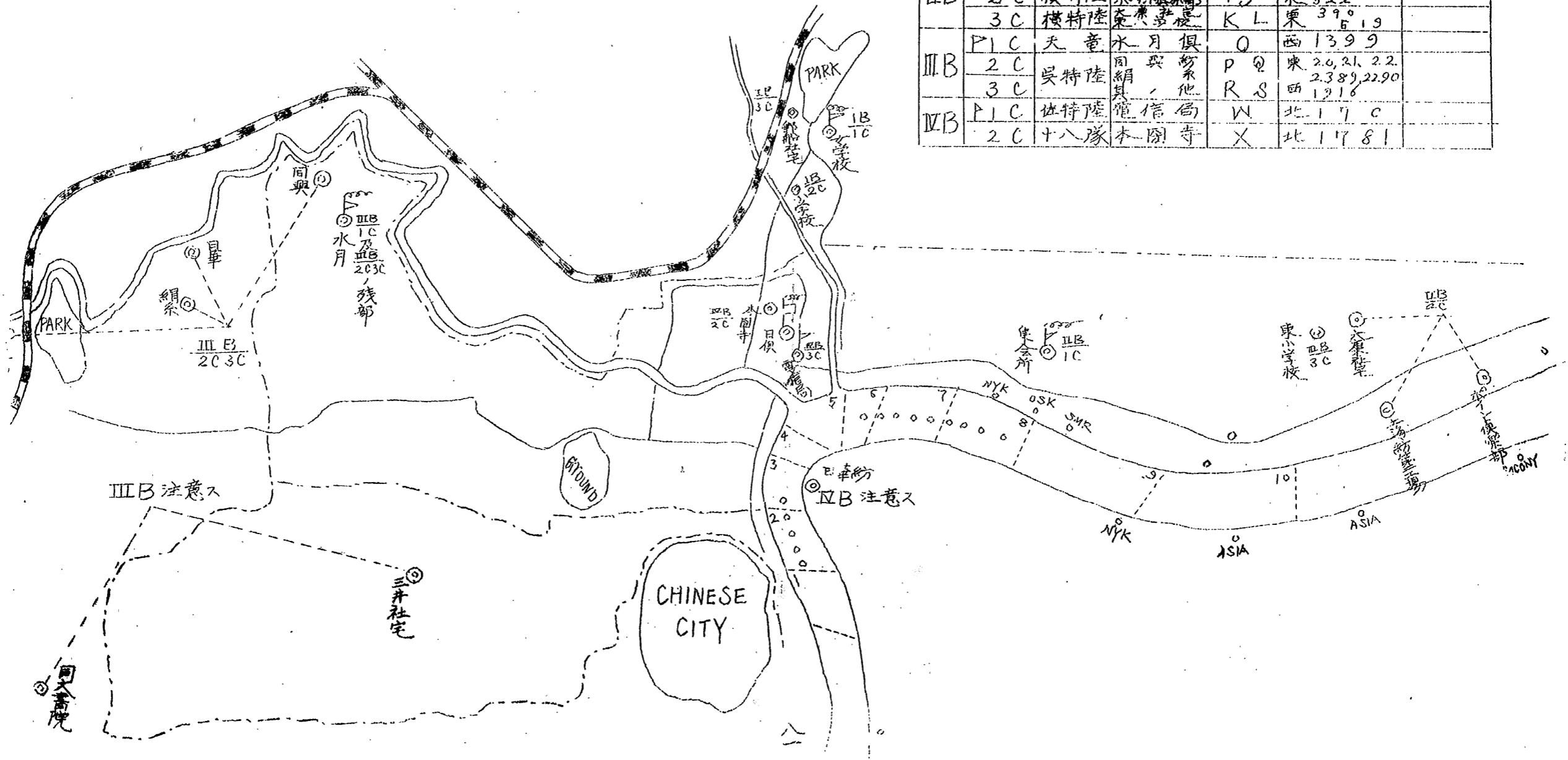
| 方面 | 警駐地点(仮称) | 地点附号 | 隊名 | 電話 | |
|-------------------------------|------------------|------|--------|-----------|-----|
| 東部 | 上海紡績第一工場(上海クラブ) | I | 横特第一中隊 | E 2 5 2 | |
| | 東洋紡績第二工場(ホインクラブ) | J | | E 5 1 2 | |
| 中部 | 大康紡績社宅(大康クラブ) | K | 横特第二中隊 | E 3 9 0 | |
| 西部 | 日本電信局(虹エロクラブ) | W | 横特第二中隊 | N 4 0 9 5 | D B |
| | 郵船社宅(郵船クラブ) | E | 横特第一中隊 | N 6 4 6 | |
| 記事 | 内外綿水月クラブ(水月クラブ) | O | 吳特第一中隊 | W 1 3 9 9 | D P |
| | 水月小学校 | P | 吳特第二中隊 | | |
| 揚陸地時期 吳隊 2-23, 陸隊 3-5, 横隊 3-8 | | | | | |



別紙二

陸戦隊(第四編制)配備表

| 隊名 | 所属 | 所在 | 番号 | 電話番号 | 電信符号 |
|-------|-----|-----|------|-----------|-------------------|
| 陸戦隊本部 | 利根 | 日根 | A | 北 2 3 3 2 | |
| IB | PIC | 利根 | 女学校 | B | 北 4 5 4 |
| | 2C | 川内 | 小中並茶 | C D | 北 2 7 0 |
| | 3C | 佐特陸 | 郵物社電 | E | 北 6 4 6 |
| IIB | PIC | 五十鈴 | 集會所 | H | 東 8 0 1 |
| | 2C | 横特陸 | 大新橋 | I J | 東 8 3 2 |
| | 3C | 横特陸 | 茶屋 | K L | 東 3 9 1 9 |
| IIIB | PIC | 天童 | 水月俱 | O | 西 1 3 9 9 |
| | 2C | 吳特陸 | 同興 | P Q | 東 2 0 2 1 2 2 |
| | 3C | 吳特陸 | 絹糸 | R S | 西 2 3 8 9 2 2 9 0 |
| IVB | PIC | 佐特陸 | 電信局 | W | 北 1 7 0 |
| | 2C | 十八隊 | 本陣寺 | X | 北 1 7 8 1 |



①特第一遣外艦隊日令第七號

左記ニ依リ敬言戒隊ノ巡視ヲ行フ

一期日 三月十日午前八時半出艦

横特警戒隊、佐特警戒隊、吳特警戒隊ノ順ヲ午前
中ニ終了ノ豫定 但各特警戒隊内順序ニ適宜トス

ニ發着ノ際ニ於ケル儀礼

准士官以上適宜ノ位置ニ整列シ送迎スニ但シ部外者ニ自立スル
様注意ヲ要ス

三巡視ノ順序

一 同候前官職氏名ヲ記載セル同候名簿ヲ提出スニ

二 敬言戒隊先任中隊長(又ハ先任小隊長)現状申告全時ニ現状

申告覺書(特機密第一遣外艦隊命令第六號第六項記

載事項ノ大要)ヲ提出スニ

ハ隊員視閲令内巡視

艦内点檢ノ際シテ令内巡視ノ途次隊員整列ノ位置ニ至ラズ視
ヲ行フ中隊長ハ先導ノ際特別善行者及武技体技有段者ノ氏名
ヲ申告スヘシ

四服装 軍装 帶勲全部

五其他 植松陸戦隊指揮官本巡視ノ際隨行スヘシ

② 天津風上海發午後五時吳淞着

平戸午後一時半青島ニ向ケ上海發

③ 支那軍艦泰安上海入港

8/3

各地形勢

一上海（△利根、平鈴、川内、天龍、堅固、隅田、浜風、時津風、磯風）

△從來龍華駐屯兵聯軍第九師長李寶章ノ軍隊ハ今周孫傳

芳ノ命依リ通州ノ原防地ニ引キ揚、此事ニ決シ彈藥軍需物品等

既ニ六日通州ニ連シ軍隊ハ自龍華發通州ニ向ヘリ

龍華高昌廟一帶ノ守備ハ孫ノ命依リ周蔭ハ擔任ニ取リ周ノ部

下第手混成旅長周蔭軒ノ部下約三千ヲ率テ行（周蔭人ノ司令

部アリ發其先頭六百上海着周旅長ハ自未滬、高昌廟兵工廠内

ニ司令部ヲ置ケリ

南京（檜 榎）

△本日本英國領事館ニ於テ日英米海軍指揮官及領事會議

ヲ開キ左如キ改正案ヲ作製セリ

1/3

三、蕪湖(柳)

- 一) 婦女子撤退ノ件追加
- 二) 陸戦隊員數削除
- 三) 第四五七條削除
- 四) 第六條中英陸戦隊海陵門爆破以下削除
- 四八) 午後十時英艦「エメラルド」突然出港上江(以上九日受)
- 會午後二時程潜出迎ノ為税関碼頭附近ニ集合シ居タ学生勞働者ノ群集中ニ税関外人驅逐ヲ叫ヒシモノアリ群衆之ニ和シ税関内ニ關シ器具ヲ破壊ス館内外人ハ無事逃走シ側ニアリシ南軍ハ直ニ群集ヲ解散シ税関ヲ保護シ居リ尚午後五時頃多數ノ勞働者(少數ノ学生アリ)税関ヲ籠ニ窓硝子器具ヲ破壊セリ明九日南軍歡迎大會ヲ租界内舉行ノ筈ニテ相當學生ノ活動ヲ見ルルキ豫

想ナリ(九月受)

四九江(鳥羽)

九江般汝耕者夜譚延闓一行ト共ニ南昌ヨリ般ル其ノ談、武漢方面ノ意見ヲ容レ中央政府及党本部移轉セルヲ蔣介石ノ行カス是ヲ當分安定スヘシ陳調元、蕪湖ニ入ル筈ナリト
南陽丸事件ニ関テ般ヨリテ蔣介石宛電報ノ事ニ約束ス
四米領事館七日 米回シシ艦長談、外人ハ弗々復級セシムヘシ(以九月受)

五漢口(嵯峨、浦風)

四今固廣西ヲ新募セル李宗仁軍第一、三團約罕五百湖南尋常地着彼等ハ劉家廟於テ、武装ノ上黃梅方面ニ向フト稱ス(八月受)
四武昌ニ在ル邦人ノ談

8/3

六重慶(保津)

重慶宜昌間自下土匪出沒シ商船ヲ銃殺シシ危險多シ

ハ李應生ノ談

當地軍官學校出身者團結シテ南昌派ヨリ分裂セントノ話アリ

(以上自受)

共産党ハ西三日前ヨリ頓ニ恟々トシテ身邊ノ危険ヲ感スルニ至レリ何
等カ異変アリニ非ルカ

白

接受情報

三月九日

水曜 晴

氣温九五 上海

午前二時三十分

千四隊ヨリ八日南京情報

全 十時三十分

鳥羽ヨリ八日九江情報

全 十時

鳥羽ヨリ九日九江情報

全 十二時

柳ヨリ 九日蕪湖情報

午後五時三十分

嵯峨ヨリ 九日漢口情報

全 九時十分

全右

全 九時三十分

柳ヨリ 九日蕪湖情報

全 九時三十分

嵯峨ヨリ 九日漢口情報

全 九時三十分

柳ヨリ 八日蕪湖情報

全 十時

柳ヨリ 九日蕪湖情報

全 十時三十分

千四隊ヨリ 九日南京情報

9/3

◎勢多漢口午前十一時宜昌着

各地情勢

一上海(△利根、天龍、川内、五十鈴、堅田、隅田、浜風、時津風、磯風)

一、日清汽船九日朝出港、南陽丸ヨリ南軍ノ不法射撃ヲ防禦スル

トシテ船橋西側及客室前ニ防弾用鉄板ヲ装備セリ

二、吳淞(天津風)

(一)商船、臨檢、淞滬司令部汽艇ニ依リ税関棧橋附近ニ上海ニ

溯江スル各國汽船ニ對シ行ハレシツルモ臨檢セラサルモノ多數アリ本

日本汽船、日清汽船、大和汽船、分臨檢セラレシモ他ト行ハレス

四 當地ニ在リシ孫傳芳軍大部ハ汽船寧興ニヨリ四五回ニ亘リ揚子江上流ニ輸送セラレタリト云フ 目下水産學校ニ第二師第四旅司令部アリ

ハ午後四時半支那軍艦海鳥及小蒸汽一隻陸兵ヲ滿載シ海琛之ニ續航當地發下江ス (以上十日受)

三 南京(檣、橙)

ハ 今明日中ニ張宗昌浦口ニ渡リ徐州方面赴ク(シト)確報アリ多分前線配備概不終リタルヲ以テ緒玉璞ニ之ヲ委任スモト思ハル
 四 午後九時英艦「カーライル」型一隻下流ヨリ入港 (以上九日受)

四 蕪湖(柳)

ハ 英艦「エクスド」午前四時南京ヨリ入港當分居尼由入港ノ目的ノ單

ニ命ニ依ルトノミテ語ラサルモ南軍カ来リテ排英気分ヲ緩和セシカ為
ナラン (九日受)

(四) 程潜ハ八午前未燕セリ

(三) 本九日南軍歓迎大會開カレ集ル者五萬終リテ税関ヲ龍衣ヒ中ニア
リタル英人四名ヲ殴打シ英人ハ身ヲ以テ遁レルカ群集ハ室内ノ器具ヲ破
壊シトランコ家具類ヲ掠奪セリ巡捕及軍隊ハ附近ニ在リシモ制シ切
ラス傍觀シアリタルニ (以上九日受)

(二) 南軍第六軍十七師ハ師長楊杰指揮ノ下ニ當塗方面戦線ニ赴ク
揚師長(日本陸軍大学出秀才程潜ノ片腕ト呼ビ)ハ領事ト舊
知間ヲ會談三時間ノ節ニ南京ヲ潰スハ易タリト確信ヲ以テ
速ヘタリ (三) 南京ヲ攻略シ上海ヲ陥落セバ唯押ニ北上シ奉天軍ニ當ル
ト (四) 朱培徳軍ハ音中ニ安慶ニ来リ其他ノ南軍幹部ハ漸次
蕪湖ニ来ルト

由目下ノ情況ニ依テ、蕪湖及南京ノ時局ノ中心トナルヲ以テ、其ノ旨傳ヘラレ
度ト領事ニ述ヘタリ

ハ當地排英氣分盛ニテ、排日氣配ナキモ無智ノ群集ハ何ヲ仕出カ
スカ知サルニ付、本日邦人ハ戸ヲ閉メ、外出セサルヤウ領事ヲ注意シ與テ

(以上九日受)

五九江(鳥羽)

九日當地入港瑞陽船長談

英船吉和三月頃荻港着下流ニ南軍小蒸汽ニ衝突沈没セシ
メ兵約三十溺死ノ為現場ヲ抑留セシ一名ニ付五萬元ヲ要求船長監
禁セラレ居ルカ如ク目下全船南軍蟻集スト「云々」止出港ハ右ニ関スルモ
カ(九日受)

七

9/3

六漢口（嵯峨、浦風）

（一）劉驥談

孫傳芳軍、武裝解除ハ全軍ノ部カ革命軍ニ氣脈ヲ通シアリ、關係上革命軍ニ取リテハ大ナル痛手ニシテ全方面作戰ニ少ナカラヌ影郷有アリ可シ

ル可シ

（四）國民黨方夢超ハ北京ヨリ九江ヲ經テ六日當地着武漢ノ政狀ヲ視察シテ革命ノ成功ハ覺束ナト語ル（以上九日受）

（ハ）今回譚ト共ニ來漢シタルハ李烈鈞、何香凝、顧孟餘、王天培等ニシテ七日午後六時ヨリ交通部ニ於テ談話會ヲ開催セリ出席者二十名、孫科首席トナリ談話會開催ノ理由ヲ述ベ次ニ譚ハ南昌方面ノ事情並軍情一般ヲ報告シ終ニ徐謙ハ會議成立ノ原因經過ヲ説明シ且ツ南昌武漢派ノ關係及諒解ノ点等ニ就テ辨明スル所アリ多ト當會決定シタル事項ハ自提安ホ委員會九日全体提安ホ委

員會于日正式全體會議尚首席閣下ヲ選出セラレハ譚延闓、徐謙、孫科、孫夫人、顧孟餘五名ナリ（九日受）

(二) 某國民政府政治委員言ニ依リ、今回會議ニ於テ蔣總司令ヲ被免シ唐生智ヲシテ之ニ代ハラシトノ議起リ目下夫々交渉中ナリト

果シテ唐總司令ニ就任スルヤ否又疑問ナルモ左傾派側ノ觀測ニテハ

唐蔣ノ專制ヲ憎ミ場合依リテハ武カニ訴コトヲ辭セストノ言負ヲ

得居タノ如ク南昌派トノ解列表ヲ豫想シツツアリ然シテ李烈鈞等

モ蔣カ江西ニ在ルヲ欲セス蔣被免ニ全意ノ模様ナリ（九日受）

(三) 某國民黨左傾派ノ言依リ先ニホロチニ驅逐ヲ劃策シテ失敗セ

陳銘樞、劉文島、身邊危險ヲ感シ所在ヲ晦ミツツアリト云

村小官、岷峨艦長、同仁會、西院ニ至リ彼カ最近ノ動靜ヲ探リ、處陳

公曾南昌ヲ飯ハト共ニ入院六百突然何レカ去リト云テ而シテ本日本國

日報ニ再ヒ徐謙カ南昌派ヲ攻撃手セシ論說ヲ記載セリ愈々武漢派

南昌派分列表、具体化ニシテモ、如ク當方面ニ何時如何ナル事件
 突及殺スル計ヲス此処數日間、特ニ注意ヲ要スルト認メラル
 〇〇九五入港

七、重慶（保津）

七日當地入港ノ佛船福洞、宜昌ニテ元曾速孔部下ノ武装解除兵
 約一千ノ強制乗船ニ遭ヒ湘江中火災ヲ起シタル太事ニ至ラスニ消止
 シテ得タリ兵士中燒死三名重傷其他川ニ投シ行衛不明トナリタルモ、數
 名ヲ出シ兵士總テ變^{カイ}府ニテ下船セリトスヲ（干日受）

八、青島（十六隊）

九日午後五時入港ノ支那商船開山號ニテ芝罘ヨリ東軍約二千名機關銃
 六迫撃砲十五上陸セリ海路南下ス事ナルモ期日不明

三月十日 水曜 晴 氣 一五〇 上海

接受情報

| | |
|--------|-------------|
| 午前五時十分 | 十六隊ヨリ九日青島情報 |
| 全 七時五分 | 保津ヨリ九日重慶情報 |
| 午後六時五分 | 十四隊ヨリ十日南京情報 |
| 全 十時五分 | 柳ヨリ 十日蕪湖情報 |

午後十時十九分 軍務局長宛 司令官發電

漢口南京情勢ノ如何依リテハ目下上海在在八隊ノ殘部ニ隻ヲ毛上テシテ
 豫定ニシテ此場合上海ノ揚兵數ハ千四百名(第一編制)下九尚狀況之ヲ要
 二八十六隊ノ一部ヲ當方面ニ招致スルノ事ハ付本件豫メ御承知置ラセテ
 午後三時四分 司令官宛 軍務局長來電

貴隊機密第三十六番電報ニ関シテ概不全電第三項貴意見見通
 詳細總領事宛外務電ニ依リ承知ラセシ 尚蘇州河通過阻止ノ際其ノ

允

10/3

採ルキ實際手段ニ就キ協議アリ各場合ニ我カ居留民ノ生命財産保護
ヲ主トシ從來ノ方針ニ基キ適宜處理ス度依命

(参照)機密第五十六番電——八附次官次長宛 司令官發電云

午後六時十分嵯峨艦長宛 參謀發電

今所貴地方面警備兵力増勢ハ行レサルニ必要ニ際シ所要兵力
豫想總領事トモ協議ハ上豫メ承知シ置キ度

○總領事宛幣原外務大臣來電

南軍蘇州河通過問題ニ関シテ各國指揮官於テ「カ」少將ニ任ス
ル事ニ賛成シ居ル以上我方獨リ之ニ反對スモ及ハサルニ通河阻止措
置ヲ執場合ニ豫メ我指揮官ニ協議ス様打合ヒ置キ事ヲ要ス右協
議アリ各場合司令官ノ態度ニ就テ海軍ヨリ別ニ電報アリ吳淞港ニ
於テ戰鬥行為阻止問題ニ関シ武力ノ使用ニ~~深~~重ク考慮ヲ要ス
次第ニテ現狀ニ於テ豫メ決定致シ難ク差當リ南北西

軍對元領事國警告等平和の方法依リ其ノ目的ヲ達ス事
御考慮相成度右海軍省ト打合セ濟シ

◎ 本職平鎮川内ヲ巡視ス

◎ 英兵「アールドストリート」第六大隊着

◎ 伏見午前十時漢口向ケ宜昌發

平戸午前十時三十分青島着

◎ 葡艦「ロバベリカ」入港

10/8/3

各地情勢

一上海(△利根、天龍、川内、五十鈴、皇田、陽田、浜風、時津風、磯風)

1. 二月十四日上海着以來北停車場列車内に在リシ畢ノ第八軍司令

部ハ本十日ヨリ閩北共和路第四敬言察署ニ移リ江北移駐ノ係

軍ノ後ヲ受ケテ上海附近一帶ノ防備ニ當ルコトナレリ

只英人怒營ヲ楊樹浦東方紡績ハ一女子ノ罰金ニ基因シ男女工約三

千五百人十日ヨリ一斉ニ罷業ス

八十日夜南軍民船三隻ヲ松江戦線ヲ突破セトセシテ聯軍ヲ殺

退セリト

二吳淞(天津風)

陸上ニ於ケル船舶臨檢監視出張所ハ閉鎖サレ臨檢用汽艇ヲ見ス

本十日朝来出入船舶ニシテ臨檢ヲ受ケタルモノ無シ

四 午前七時支那汽船リウダイ陸兵多數ヲ搭載シ黃浦江ヨリ當地通過湖江（以上十一日受）

（）在泊外國艦船「クイバン」運送船一隻、聯鯨、靖安、楚謙、永績、通濟、應瑞、楚有、海籌、楚同、海容

三 南京（檣、橙）

張宗昌、十日午前三時當地發蚌埠、向リ今夜吳光新上海、向々當地發、豫定（十日受）

四 蕪湖（柳）

（）午後七時下流ヨリ蕪湖着、南陽丸船長報

（）全船八本、十日蕪湖、下流約七哩右岸山上ヨリ小銃五發打也

（）何等損害ナシ

10/13

又二

三南軍ノ兵約七百西梁山ノ下流約五哩ノ左岸ヲ下流ニ向ヒ進

居ルヲ認ム(以上十日受)

四九日歡迎大會ニ於テ程潛ノ革命ノ目的ヲ説キ且且海日英軍艦陸戰隊上陸ニ反對ノ旨ヲ高調シ露國人ノ顧問ノ革命ノ使命

ト自己ノ立場トヲ説キタリ大會後群集ハ税関ヲ包圍シ稅務司及英人稅関官吏ノ住宅ニ闖入シ家具家財ヲ破壊シ又ハ掠奪ヲナシタルヲ邦人稅関吏住宅ニ被害ナシ

五陳調元九日江華ニテ九江ニ行ク蔣ニ會フ為ナリト、當地道尹交涉員、知事等ハ何レモ逃走セリ

六昨日英驅逐艦ヨリ陸戰隊二十名ヲ揚ケ太古碼頭ヲ保護セ

シカ間モナク引揚ゲタリ

七賀耀祖ノ軍一部今日九江ヨリ着賀、明日蕪湖ニ来ル筈

(十一日受)

五、九江（烏羽）

（一）第三軍引續キ南昌ヨリ當地經由下江ス九日有力ナル野砲隊ニ
出奔セルヲ見ル殷汝耕田ク南軍各方面ヨリ二十万ヲ南京ニ集
中セリト

（四）當地税関長免職サル待遇改善ヲ要求シ罷業糾察隊跋扈ス
（五）山本政友總務午後三時南昌ニ蔣ニ會見スヘシ（以上十日受）

六、漢口（嗟峨、浦風）

（一）武漢南昌兩派ノ軋轢益々露骨トナリ政府機關紙々徐謙ノ名
ヲ堂下ト蔣介石ヲ攻撃シ且ツ武漢市民及委員會其他ノ団体
モ公然起ツテ蔣ニ詰問狀ヲ出シ居リ而シテ中央執行委員會人王
休會議ハ人愈々本十日午後二時開會豫定提案内容各過
去三日間ノ豫備會議ヲ決定セシ極端ナル黨權恢復的性質ヲ帶

10/3

フルモノナルモ今や武漢派ノ一致團結ニ一氣呵成ニ通過サントシツツアリ
 武漢派カ蔣介石張靜江ヲ相干取敢然宣戰布告的態度ヲ執ルニ至
 リニハ唐生智カ武漢派ト或程度ノ默契アリニ依ルモノ如ク武漢派ハ
 唐軍ノ實カト輿論ノ援助ニヨリ好機會ニ南昌派ヲ屈從セシメントノ
 計劃ナリ尚陳銘樞ハ本渦中ニ入下ヲ避ケテ再ヒ所在ヲ晦マセリト
 傳ヘシ市中ニ俄ニ張靜江ヲ打倒ス等ノ反南昌派的傳單貼付サ
 ル形勢カ險悪 (十首受)

四 劉文島ハ日本租界内ニ潜伏シ居ルカ変装シ本十日鳳陽ヲ九江ニ向テ
 彼ノ談、蔣ノ革命ノ内争カ浙江方面戰局ヲ不成功ナラシムルヲ慮
 リ今ノ如共產派ニ對シ武力壓迫ハ避ル模様ナリ余ハ身邊ノ安全ヲ
 期シ當地ヲ去ル南昌或ハ上海ニ行クカハ九江着後決定ス心算ナリ陳銘
 樞ハ已ニ南昌去リ (十首受)

ハ 本會唐生智ヲ訪問シタル如キ委員會出席ニシテ留守ニテ不在依テ

龍英參謀長ト會見ス彼ハ非常ニ多忙ナルモノ如ク顔色憔悴シ
居シリ談左ノ如シ

(一) 今更ニ全體會議ヲ軍事委員會ヲ設立シ軍務行政ヲ司ラシ
ル模様、唐ハ其ノ首席タラン

(二) 當地ニ唐ノ部下三師及第四軍第十軍屬スル部隊一團アリ

(三) 武漢衛戍ノ責任、唐ニテ武昌ハ張發奎之ニ任ス第四第十一
軍長代理、鄧演達ノ弟鄧演孫ニテ唐生智ノ關係不良ナ
ラス

(四) 沙市岳州方面ナル李品仙ノ部隊、不日當地ニ下江セシメントス

(五) 陳銘樞ハ病氣ヲ廬山ニ靜養中 (予自受)

七長沙(比良)

市黨部ニ關係アル知人ノ言ニ依リハ

10/3

0481

(一) 蔣介石ト北方ト妥協進行ノ導南昌武昌間、軋轢ニ鑑ミ唐
 生智靳雲鶚、劉佐龍間ニ河南兩湖ノ地盤維持盟約成立シ
 ハ奉軍ノ南下ニ抗シテ蔣ト萬ニ備ニ準備成リツツアリ
 (二) 當地党部ハ大會決議ヲ以テ最近問題ニ蔣介石ノ反共產對
 奉妥協說ニ関シ眞否ヲ明答スヘク本日蔣宛詰電ヲ發セリト

(以上十留受)

三月十日 金曜 雨模様 氣温七〇 上海

午前三時

柳ヨリ 十日蕪湖情報

〃 七時三十分 鳥羽ヨリ 十日九江情報

〃 八時四十分 天津風ヨリ 十日吳淞情報

〃 九時 全右

接受情報

午後三時五十分 西隊ヨリ 十日南京情報

〃 六時 嵯峨ヨリ 十日漢口情報

〃 九時十五分 天津風ヨリ 十日吳淞情報

〃 十一時三十分 比良ヨリ 十日長沙情報

〃 十一時四十分 二隊ヨリ 十日南京情報

◎ 午後九時二十分 嵯峨艦長宛

司令官發電

高尾總領事 程漱白 九日蕪湖 於上海日本陸戰隊揚陸云々ト講演シタル

九日

由取ルニ足ラストハ思ヘトス當該地方ニハ場合依リ面白カラス結
果ヲ来スニアリ固ヨリ辨明ニ非サレトス御序々節斯ノ如キ
有害ニシテ事實相違セル放言慎ム様御取計ヲ乞フ

◎ 本職豫定ノ如ク巡視ヲ行フ

◎ 特第遣外艦隊機密第三號

警戒隊巡視覺書

本職警戒隊ヲ巡視セル處隊員一同克ク隊務ニ精勵シ軍
紀風紀嚴正ニシテ士氣旺盛ナリ又宿營日淺キモ拘ハラス舍
營各部ヨリ整頓シ警戒隊トシテノ敬言急準備ハ一般ニ完整シ
アルヲ認メ陸戦隊指揮官始メ關係諸員一同努力苦心ノ
尋常一樣ニ非サリシヲ思フ

本職ハ巡視ノ成果ノ良好ナルヲ喜フト共ニ更ニ此ノ機會ニ
於テ陸戦隊指揮官ヨリ新来ノ各級指揮官ニ對シ警戒隊

トシテノ服務ノ準繩ニ関シ左記本職ノ希望ニ基キ注意ヲ
促シ置カントヲ望ム

一諸官ハ已ニ本職累次ノ訓示竝敬言備要務等ニ依リテ當
隊ノ警備方針ハ充分了得シアルヘシト認ムルモ此ノ際更ニ熟
讀玩味セシトヲ望ム

ニ本来敬言戒隊ハ陸戰隊ニ非ス指令アリテ後始メテ陸戰隊
トナリ而シテ其ノ任務ヲ遂行スルモノニシテ混沌タル現時局ニ
對シ突嗟ノ場合整備時間ヲ短縮スル為特ニ此穩密ナル
編制竝組織ヲ撰ヒタル次第ニシテ之ヲ必要トスル時機ハ未ダ
到来シ居ラス夫レ迨ハ表面ドコ迄モ普通ノ陸上宿泊ト全一
見セシムヘキモノニシテ舍營ニ對シ特ニ俱樂部ノ名稱ヲ附セシメ
クモ真意ハ此ノ点ニ存ス從テ其ノ舍營敬言戒手段ノ如キモ
自衛上必要ノ最小限度ニ止メ舍營外ノ巡邏舍營所在

一、敬言隊ノ敬言駐地点ヲ多ク紡績関係地域ニ撰擇セルハ紡績関係敬言備ノ目的ノミニ依ルモノ非スシテ一般敬言備任務達成上並宿泊ノ便否ニ依ルモノナリ言フ迄モナク敬言備ノ本領ナルモノハ邦人ナル限り一饜飢屋下雖敬言備對象トシテ工場ノ大ト同一ナルコトヲ知ラサルヘカラス断シテ現ニ宿舍タル工場又住宅専屬ノ衛兵ニ非ス此ノ点誤解ナキヲ要ス

二、敬言隊敬言駐中ハ附近邦人ヨリ雜多ノ問題ニ関シ助カヲ求メラル、事アルヘキモ海軍トシテ任務上公的ニ之ヲ處理セサルヘカラサル場合外ハ絶對ニ之ニ関與スヘカラス特ニ労働爭議於

テ然リトス又假令労働爭議カ暴動化ス虞アル場合ト
雖各地域トモ保安ニ任スヘキ警察機關現在シ警戒隊ハ
恣ニ之ニ從事スルコトヲ得サルナリ兵力ニテ之ニ関與スルニ總領事
ヨリ當該官憲ニ通告シ然ル後始メテ行動シ得ルモノニテ現
在ニ於テハ任意ニ行動スヘカラサルナリ故ニ如此場合ニ時機ヲ
失セサル様能ク其ノ成行ニ注意シ其ノ對策ヲ考慮スルニ止メ
一切ノ發動ハニ本職ノ指令ニ俟ツヘキモノト心得テ輕舉盲動ハ
嚴ニ之ヲ慎ムヘシ

但シ陸上ニ忠勇ナル帝國水兵駐泊セルコトニ依リ一般邦人意
ヲ強フセシメ安心シテ其ノ業務ニ從事セシムコトハ固ヨリ望マシキ所
ナリ要ハ適當ナル則テ超ヘサルニ在リ

五當隊一般ノ方針トシテ部外者ノ飲食應及寄贈品贈與等ハ
漫リニ受ケサレトニ定メアリ從テ警戒駐地關係邦人等トノ松交

必要以外此際可成避クルヲ可トシ寄贈品等ノ贈與アリ
 ル場合ニ要スル司令部又ハ陸戰隊指揮官ヲ經由セシル
 如クナスヘシ警言駐地關係邦人ヨリ特設物^{提供}申出ノ如キモ之同
 様ニ處理スヘキモトス

六、警言戒隊ノ勤務ハ表面的ナラスシテ萬事控目ニ為ササル可カラ
 サル為甚ク困難ナリ然レ共斯ク充事ハ則チ重要ナル任務ノ一充
 事ヲ辨ヘ隊員一般ノ倦怠防止並風紀ノ維持等ハ一層工
 夫ヲ為サン事ヲ特ニ切望ス此際他ノ迷惑トナラサル範圍於
 テ遊戯遊藝等ハ適當ノ時機時間ニ於テ差許シ差支ナリ
 又武技体技等ハ大ニ獎勵シ常ニ旺盛ナル士氣ヲ維持向上
 スルニ努ムヘシ

之ヲ要スルニ當隊上海警備任務實施ノ第一線ニ在ル諸官
 ハ實ニ帝國海軍ノ信望ヲ内外ニシナクキ重大ナル地位ニアルヲ

思ヒ忍耐沈勇事ニ臨ムト共ニ此テ油断ナクシテ以テ此ノ多難ノ時局ニ處シ有事ノ際機ヲ逸セス邦人ノ生命財産ノ保全ニ萬遺憾ナキヲ期セサルヘカラス

⑥ 伊國驅逐艦「ムキア」十百入港

各地情勢

一 上海（A利根天龍川内五十鈴堅田隅田浜風時津風磯風）

イ 十百朝組界内東部上海紡工人一西部同興紡工人一不良工人ノ為拳銃ヲ暗殺サレ犯人何レモ縛ニ就カス工部局ノ取締ニ非難ノ聲アリ

ロ 許交渉員ハ北京外交部ノ命ヲ人ヲ派シ佛組界官憲立

1/3

⑨

會上二月二十日支那軍艦發砲事件ノ損害ヲ調査ス

八南京販來邦人談

南京ハ山東軍ノ乱暴ト不換紙幣ノ

強制通用ヲ市民ハ蛇蝎ノ如ク之ヲ嫌ヒ一時モ早ク南軍ノ入

市ヲ待テ居ル状態ニテ大勢既ニ山東軍ヨリ去レリ

ニ李寶章軍全部江北撤退

上海吳淞ニ在リシ李寶章軍全部江北ニ撤退シ吳淞獅子林

砲台ノ守備モ山東軍ノ手ニ取シタリ

ホ浦東側ニ在リシ孫軍撤退シ周陰人軍駐防スルトナル

ハ滬寧鐵路罷工開始以來既ニ週間ニ達シ目下罷工々人約

一千人アリ十日大會ヲ開キ左ノ四項ヲ決議セリト

(一) 罷工政治的意味ナルヲ宣布ス

(二) 罷工委員會ヲ組織ス

(三) 工人ノ結束ヲ堅メ工會ノ命令ナクシテハ復工セス

(四) 滬甯鐵路總工會設立準備ヲナス

二 吳淞(天津風)

本日商船ノ臨檢セラレシ模様ナシ

三 南京(檜桎)

(一) 孫傳芳ハ本日清汽船大福丸ニテ密使ヲ漢口ニ送レリ其ノ使命ハ不明ナルモ孫傳芳ガ南軍ニ通スル下準備ナリト噂アリ

(四) 午後八時半支那軍艦楚有型ヲシキモノ三隻燈火ヲ隱蔽シ上流ニ急速通過セリ(以上十百受)

ハ當地在泊艦船「カラドック」D三四三

11/3

四九江（鳥羽）

ハ李烈鈞九日夜漢口ヨリ飯着南昌ニ向フ

四陳調元十日蕪湖ヨリ未着ノ筈ナリシモ来ラス

ハ十日夜租界管理局長主要外人ヲ招待シ國民政府最

善ヲ盡シテ外人ヲ保護シ貿易ノ恢復ヲ期ス安心ニテ復飯

セヨト云フ 英領事 吾人ハ今次不祥事件ノ無賴漢ト其ノ

背後ニアル煽動者ヲ熟知ス斯カル輩ト交ルヲ欲セサルモ賢

明ナル國民政府當局ノ下ニ以テ感情ヲ棄テ、共同セント皮肉

リ英先任艦長ハ英海軍ノ為ニ九江漢口ニ於ケル英兵行動

ヲ辯シ然ラサリセハ遺憾ナル結果ニ陥リヤ諸君ノ察知シ得

ル所ト云フ（以上十頁受）

ハ當地在泊外國艦船

「ワッドヨック」

D 六二

九八

五、漢口（嵯峨、浦風）

(1) 全体會議ハ十日午後二時正式開會出席者正式委員
 一八候補執行委員二一候補監察委員四計三三譚延闓
 臨時首席徐謙、顧孟餘等進行條トナリ先ツ武漢在住ノ
 黨員ノ黨權恢復運動大會ノ請願（總理ノ聯露聯共農
 ヲ三大政策ヲ強固ス、軍事專政ニ反對ス、個人獨裁的封建
 制度ヲ糾正ス等ノ十條）ヲ容レ更ニ武漢聯席會議ノ必要
 ニテ有効ナルトヲ承認シ次テ黨ノ行動機關統一安ホ中央執
 行委員會、軍事委員會組織大綱、首席制取消案等
 ヲ一氣ニ可決、八時散會セリ本十日會議續行ノ苦形勢ハ
 刻々重大化シ南昌派顔色ナシ

(2) 昨日當地ニ於テ國民黨大會 舉行セラル參加者六千孔庚首
 席トナリ大要左ノ決議ヲナセリ 全体會議ノ決議案擁護民

主政治ノ實行党権恢復革命運動ノ繼續個人独裁ニ及対
 党内ノ老朽分子打倒外交政策統一擁護奉旨軍閥打倒
 英米煙草會社ハ二月六日煙草ノ賣行皆無ヲ名トシ工場ヲ
 閉鎖セシカ 昨十日英煙草工會ハ臨時英煙草管理委員
 會ヲ設立シ今工場ヲ管理スルコトナレリ(以上十頁受)
 現政狀ニ鑑ミ居留民保護ニ関シ本十日領事ト協議シタル所
 總領事ハ今直ニ艦艇ノ増派ヲ要セサルニ政狀ノ變化計リ知ルヘ
 カラサルノアルカ故ニ必要ノ場合直ニ増派シ得ル様御配慮願
 度ト申出テタリ 故ニ驅逐隊ヲ九江大冶附近迄湘江セシマラ
 レントシ希望ス 尚總領事ハ左如ク語レリ
 譚延闓カ徐謙ニ對シ適當ニ緩和策ヲ講シ得ル本内争ハ一
 時終熄シ得ヘキニ然ラサルニ於テハ何等カノ形式ニヨリ一騒動ハ免レ
 サルヘシ尤モ憂慮セラルハ陳銘樞ノ部隊ト唐生智ノ部隊ト

衝突ニテリ而シテ共產派ハ此ノ間ニ處シ暴民ヲ煽動シテ
騷擾ヲ擴大シ強ヒテ對外問題ヲ惹起セシメントスル虞ナシト
セス一層懸念サル(十百受)

(小) 昨十日朝時局ニ関シ總領事ト協議シタル所總領事ハ今急
ニ艦艇ヲ當地ニ増派スルハ支那側ニ乘セラル、虞アルヲ以テ之ヲ
避ケ度希望スルモ情況ニ應シ驅逐隊一隊ヲ直ニ増派シ得ル様
手配願ヒ度トノコトナリ(十百受)

(ハ) 某國民黨員ノ言依レハ八日夜ノ委員會ニ於テ党権問題関
シ李烈鈞・徐謙間ニ大激論アリ將ニ雷雨ヲ降ラス光景ヲ
演出セシカ譚延闓調停ニヨリ一時其ノ場ハ落着シタルモ李ハ
今夜突然姿ヲ晦マセリ譚ハ極力緩和策ヲ講シ居レリ
(十百受)

(イ) 十日午後漢口新市場總理紀念堂ヲ開カレタル宣傳員

100

大會ノ際中央軍事政治學校武漢分校生徒ノ一部ハ共產黨員ヲ打殺セシ等ノ叫ヒ聲ヲ擧ケテ乱暴シピストルヲ擬シテ宣傳員ヲ威嚇ス者アリ會議ハ夥シク混乱状態ニ陥リシカ軍警糾察隊活動ヲ漸ク事無キヲ得タリ逮捕サレシ四人ノ所謂反革命分子ハ十百武昌テ銃殺サレシ若右ハ當地ニ於テ反革命運動勃發ノ一端ト認メラル

(4) 全体會議ニ於テ可決サレタルニ大重要案中党ノ領道ヲ機關統一安ホノ要旨

(1) 全國代表大會ハ党ノ最高権力機關ニシテ毎年一回開會シ最高権ヲ行使ス

(2) 全國代表大會閉會中ハ中央執行委員カ三ヶ月毎ニ全体會議ヲ開キ最高権ヲ行使ス

(3) 中央執行委員會全体會議ノ前後期間ハ全体會議カ

互選セル常務委員九名ヨリ中央執行委員會常務委員
 會ヲ組織シテ黨務政治軍事ニ對シテ最終議決權ヲ行使シ直
 接處理ス黨務ノ外ハ國民政府ヲシテ公布執行セシム
 四中央執行委員會ノ下ニ政治委員會軍事委員會等ヲ設ク

(他四條畧)

軍事委員會ノ組織大綱要旨

一 軍事委員會ハ高級軍官中ヨリ九乃至十三名ヲ茲軍職ニ任
 セサル中央執行委員及候補委員中ヨリ六名ヲ夫々選出シ共同
 組織ス

二 戰時ニ在リテハ中央執行委員會カ軍事委員會委員中ヨリ中
 央執行委員會提テ總司令ヲ任命ス

三 總司令前敵指揮軍長等ノ職ハ軍事委員會ヨリ中央執
 行委員會ニ提出シテ任命ス

11/3

四) 軍事委員會ハ及革命ヲ鎮壓シ且軍事犯ヲ裁判ス為革命軍事裁判所ヲ設立ス (他ニテ条畧) (以上十音受)

(1) 唐炳初ハ今日朝飯漢後直ニ來艦九江南昌方面情況ヲ頻ニ質問スト同時ニ極力唐生智カ共產化セサル所以ヲ説明シ居レリ

談左如シ

(1) 蔣カ党ノ決議ニ從フハ當然ニテ独断專制ハ不可ナリ

(2) 蔣ト唐トカ直ニ戰鬪スモトハ信セラレス

(3) 唐ト河南軍ト連絡ハ密接

(4) 共產党ハ蔣カ張宗昌ト提携シテ孫傳芳軍ノ武装ヲ解除

セリト話シ居レリ (以上十音受)

(英) 「ヒ」, 「マグリ」, 「クリケット」, D 3.7.5
6.6.95

(米) 「イサベル」, 「ヴィラロボス」, D 347
342

(佛) 「アルゴル」, 「バル」, 「イ」, 「エルマノカロット」

六 長沙 (比良)

司令部署ノ談

唐己ノ命令ヲ以テハ三五三六軍ヲ各三師ニ擴張シ新
ニ師長九名(上記ノ外旅長數人)ヲ任命セリト時節柄注目
値ス

四 當地在泊外國艦船

(英) ヲツドモック

(米) ハロス

1011